

# 《解説》

## 能 屋 島

西国行脚の途中、讃岐国屋島の浦に立ち寄った都の僧(ワキ)は、とある塩屋に宿を求めた。丁度釣りから戻ってきた主の漁翁(前シテ)は、取次の若い漁夫(ツレ)から僧が都の人だと聞き、宿を貸す事にする。僧に求められたまま、屋島の戦いにおける源氏の大将九郎判官義経の名將ぶり、平家方の悪七兵衛景清の鍛引き、能登守教経に討ち取られた義経の家臣佐藤藤継信の最期、などを次々と語って聞かせる。あまりにも詳しい話を怪しみ、僧が名を尋ねると漁翁は義経の霊だとはのめかして姿を消す。(中入)

僧が夢うつつに待っていると、源義経の霊(後シテ)が甲冑姿で現れる。義経は屋島の戦いの際、波に流された自身の弓を敵に取らせまい

と、果敢にも取りに行つた古を見せる。そして現存も修羅道において、未だに能登守教経と争っている様を示す。やがて夜明けとなり、義経は消え失せる。

## 能 狂言 千鳥

主人にツケで酒を買ってくるように言われた太郎冠者だが、以前のツケが溜まっているため酒屋は酒を渡さない。冠者は酒樽を手にいれるため、酒屋をおだててみたり、津島祭の話をしたりするが上手くいかない。そこで冠者は馬場の流鏝馬の話をし始める...

## 能 錦木

東国行脚の旅に出かけた僧(ワキ)は、陸奥狭布の里に立ち寄った。僧は里で美しく飾つた木

を持つ男(前シテ)と、鳥の羽で織つた布を持つ女(前ツレ)に出会う。僧が品々の由来を尋ねると、布は細布という里の名産物、木は錦木という里の風習(男が想い人の門に立て、求婚が受け入れられれば取入れられ、そうでなければ残される)の物だと教える。さらに夫婦は、三年間錦木を立て続けるも受け入れられず、千夜の悲痛の末に息絶えた男と、知らぬ顔をして家の中で機を織り続け、男の妄執に祟られ命を失った女の話をする。その後、僧を物語の二人が埋葬された錦塚に案内し、二人は塚の内へ姿を消す。(中入)

夜もすがら僧が吊つていると、夫婦の亡霊が現れる。女(後ツレ)は塚で機を織り続け、男(後シテ)は夜ごとに錦木を運び続けなければならず、今は夫婦となった魂が未だに妄執にとらわれ隔絶されている様を示す。やがて夫婦は弔いにより再会し、喜び舞うが、夜明けとともに僧は夢から覚める。

### 【注意事項】

- ・入場券のお申込みは、観世九阜会事務所ならびに当会能楽師が承ります。
- ・当日券は、残席ある場合のみ当日正午より会場受付にて発売いたします。完売の際はご了承ください。
- ・お求め頂いたチケットの払戻しおよび指定席のお取替えはできません。
- ・未就学児の入場は原則的にお断りさせていただきます。
- ・本番組記載の演目・演者等はやむを得ない都合により変更になる場合がございます。
- ・許可のない録音、撮影は一切禁止です。携帯電話は電源からお切りください。演能やほかのお客様の迷惑となる行為はご遠慮願います。場合によっては退場していただく事もございますので御了承ください。
- ・地震等の影響により急遽変更になる場合がございます。情報は随時ホームページをご覧ください。

### 入場券料(全席指定・税込)

正面指定席	6,480円
脇正面・中正面指定席	5,400円
学生券指定席(脇正面中正面)	3,240円

(席数限定・26歳未満・要学生証。未就学児童入場不可)

### 一般発売日3月11日(日)

- ・一回券は、前月の定例会当日に矢来能楽堂受付にて発売いたします。(お電話でのご予約は12日(月)から承ります)
- ・半期券と当会会員先行予約のため、一般発売席がわずかとなる場合がございます。何卒ご了承ください。

### お問い合わせ・お申し込み

162-0805 東京都新宿区矢来町60番地 公益社団法人 観世九阜会  
TEL 03-3268-7311 FAX 03-5261-2980 yarai@eos.ocn.ne.jp



地下鉄東西線神楽坂駅下車 矢来口より徒歩2分  
都営大江戸線牛込神楽坂駅A1出口より徒歩5分  
駐車場はございません。近隣のコイン駐車場をご利用ください。

能・狂言  
Noh Kyogen  
**観世九阜会**  
かんぜきゆうこうかい  
矢来能楽堂  
162-0805 東京都新宿区矢来町60

<http://www.yarai-nohgakudo.com>

表紙写真 三平太 撮影 青木信二



# 能・狂言 観世九阜会

かんぜきゆうこうかい

平成30年4月8日(日) 午後1時始(正午開場)  
於 矢来能楽堂

Noh Kyogen

KANZE KYUKOKHAI

8 April 2018 (sun) Yarai Noh Stage

13:00 start (12:00 open) English program available

# 四月 定例会

平成三十年四月八日(日)午後一時始 於矢來能樂堂  
番組

能 屋 島

Yashima

ツレ 中森健之介  
シテ 遠藤 和久

ワキツレ 矢野 昌平  
ワキ 福王 和幸 大鼓 高野 彰  
ワキツレ 村瀬 慧 小鼓 森澤 勇司 笛 八反田智子  
間 山本凜太郎

後見 鈴木 啓吾 奥川 恒成 中所 宜夫  
永島 忠修 長山 耕三 観世 喜正  
地謡 佐久間二郎 小玉 三郎  
永島 充 永島 充 中森 貫太

休憩十五分

(午後二時四十分頃)

狂言 千 鳥

Chidori

シテ 山本 則俊 アド 若松 隆  
アド 山本 則重

後見 山本凜太郎

笠之段

桑田 貴志

仕舞

草子洗小町

観世 喜之

歌 占

キリ

中森 貫太

地謡

小島 英明 永島 充  
長山禮三郎 佐久間二郎

休憩十分

(午後三時三十分頃)

能 錦 木

Nishiki

ツレ 奥川 恒治

シテ 駒瀬 直也

ワキ 殿田 謙吉 大鼓 原岡 一之 太鼓 林 雄一郎  
ワキツレ 則久 英志 小鼓 田邊 恭資 笛 小野寺竜一  
ワキツレ 御厨 誠吾 間 山本 則秀

後見 河井 美紀 遠藤 喜久

地謡

新井麻衣子 小島 英明  
中森健之介 観世 喜正  
桑田 貴志 弘田 裕一  
坂真太郎 鈴木 啓吾

附祝言

(終演 午後四時五十分頃)

次回予定番組

平成三十年五月十三日(日) 午後一時始  
於 矢來能樂堂

能 實 盛 長山禮三郎

能 皇 帝 観世喜正

能樂書林

権藤芳一著 『能樂手帖』



簡潔な解説で携帯にも便利な能樂鑑賞事典。見開き一曲で、上演頻度の高い一三〇曲を厳選して収録。曲ごとに、あらすじ・みどころ・作者・素材・各流の小書きなどが書かれ、観能の手引さに最良の書。巻末に用語解説も付す。

新書判・三〇二頁 本体一四〇〇円十税

柳沢新治著

『横からみた能・狂言』

長年、NHKの能樂放送に携わった著者が著した、現場ならではの「放送うらばなし」をはじめ、能の歴史をひもとく「能の歴史」、心に残る人々との思い出の随想「出会いと別れ」、能をモチーフとした推理小説「能舞台の目撃者」など、バラエティに富んだ内容を一冊にまとめた好読物。

四六判・二三三頁 本体二〇〇〇円十税

ご注文・問合せ 能樂書林 九段下駅徒歩すぐ  
TEL 03-3264-0846  
FAX 03-3264-0847  
メール shorin@mercury.plala.or.jp